

令和 5 年

第 9 回猪苗代町農業委員会定例会議録

令和 5 年 8 月 1 8 日開催

猪苗代町農業委員会

令和5年第9回猪苗代町農業委員会定例総会会議録

1. 日 時 令和5年8月18日（金） 午後4時00分

2. 場 所 猪苗代町役場 3階 正庁A

3. 出席者

農業委員

2番 小檜山 浩 子	3番 大 月 喜 裕	4番 高 橋 二三雄
5番 鈴 木 範 政	6番 鈴 木 正 晃	7番 遠 藤 正 浩
8番 丸 山 之 子	10番 浦 大 輔	11番 安 達 壽 人
12番 土 屋 勇 雄		

農地利用最適化推進委員

14番 氏 田 泰 昭	15番 関 和 慎 一	16番 岸 本 恵里子
17番 古 川 昭 一	18番 相 馬 裕 幸	19番 鵜 浦 正 俊
20番 小檜山 正 次	21番 桑 原 富 男	22番 神 庄 也
23番 長谷川 竹 司	24番 小檜山 慶一郎	

4. 事務局 局長 長谷川 勲 農地係長 佐藤 すずい 主事 渡部 善和

(開議時間：午後4時00分)

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは、ただ今から令和5年 第9回猪苗代町農業委員会定例総会を開会いたします。

本日の定例総会の招集につきましては、8月1日告示し、同日付で、農業委員及び農地利用最適化推進委員に告知申し上げたところであります。

それでは、農業委員の出席状況を報告します。

在任委員数 12名のうち、

出席委員 10名、欠席委員 2名、うち届出欠席 2名

欠席委員は、1番 渡 部 誠 委員

9番 二 瓶 公 司 委員 であります。

したがいまして、農業委員会等に関する法律第27条第3項の規定により、過半数以上の出席がありますので、本総会は成立いたしました。

次に、農地利用最適化推進委員の出席状況を報告します。

在任委員数 12名のうち、

出席委員 11名、欠席委員 1名、うち届出欠席 1名、

欠席委員は、13番 笹岡 正人 委員であります。

委員の皆様に申し上げます。

各議案の審議の際、調査員としての報告、または、補足説明を求められた場合は、挙手のうえ発言をお願いします。

また、調査員でない委員の方であっても、審議の際の発言は可能でありますので、その際は挙手をお願いします。

なお、推進委員の皆様には表決権がございませんので、採決には参加できません。あらかじめご了承ください。

次に、猪苗代町農業委員会総会 会議規則第18条により、議事録署名委員を、2名指名したいと思います。

議長において、指名することに、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認め、

2番 小檜山 浩 子 委員

7番 遠 藤 正 浩 委員

の2名を指名いたします。

次に、審議の方法について、お諮りいたします。本日の提出議案については、議案ごとに一括して上程し、逐次審議することとし、採決は挙手による方法といたしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。

本日の提出議案は、

議案第34号 農地法第3条の規定による許可申請について（所有権移転）

議案第35号 現況確認証明願いについて

議案第36号 農用地利用集積計画の決定について

議案第37号 猪苗代町農地パトロール（有効利用調査）実施要領（案）について

以上、4件であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは始めに議案第34号「農地法第3条の規定による許可申請について（所有権移転）」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 農地係長）

議案第34号「農地法第3条の規定による許可申請（所有権移転）」について説明いたします。

この議案は、農業委員会の許可の適否を決定したいので審議をお願いするものであります。

2 頁をご覧ください。

No.1 の譲渡人は ○○の○○ ○○、譲受人は ○○の○○ ○○で、大字○○字○○
3441 番 畑 1 筆 396 m²を、贈与するものであります。

No.2 の譲渡人は ○○の○○ ○○、譲受人は ○○の○○ ○○で、大字○○字○○164
番 1 外 1 筆 畑 106 m²を、10 a 当たり 9,434 円で、売買するものであります。

No.3 の譲渡人は ○○の○○ ○○ 外 4 名、譲受人は ○○の○○ ○○で、大字○○
字○○甲 2906 番 畑 1 筆 361 m²を、10 a 当たり 254,777 円で、売買するものであります。

譲受人の経営状況等は、議案書記載のとおりであります。

なお、この案件につきましては、申請書としての形式的要件を備えておりますので、事務局
として受理し、担当地区の推進委員の方に調査書に基づく調査をお願いし提案しております。
以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので、No.1 の調査員であります 20 番 小檜山 正次 推進委
員に報告を求めます。

○20 番（小檜山正次 推進委員）

No.1 について、令和 5 年 8 月 9 日、申請人 ○○ ○○ 氏の自宅を訪問し、調査書に基づく
調査を実施したので、報告します。

本申請の譲渡人 ○○ ○○ 氏は、生前に所有農地を処分したいとの意向で、該当農地周辺
を現在耕作している ○○ 氏へ、贈与により所有権移転する運びとなったものであります。

申請に対する調査の結果としましては、○○ 氏は、農作業に従事することができると共に、
農機具の保有状況や周辺地域との調和要件等から適切に農地の維持管理ができ、許可の要件を
満たしていると思われますので、報告します。

また、農業経営基盤強化促進法の一部を改正する法律により、農地法の一部が改正され、農
地取得時における下限面積要件は、令和 5 年 4 月 1 日より廃止されておりますことを申し添え
ます。

○議長（土屋勇雄 会長）

6 番 鈴木 正晃 農業委員に申し上げます。
調査報告に補足があればお願いします。

○6 番（鈴木正晃 農業委員）

特に補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、No.1 の審議を行います。

調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第34号のNo.1について、申請のとおり許可することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第34号のNo.1については、申請のとおり許可することに決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、No.2の調査員であります20番 小檜山 正次 推進委員に報告を求めます。

○20番（小檜山正次 推進委員）

No.2について、令和5年8月8日、申請人 ○○ ○○ 氏の自宅に電話し、調査書に基づく調査を実施したので、報告します。

本申請の譲渡人 ○○ ○○ 氏は、高齢のため経営規模を縮小したいとの意向で、該当農地周辺を現在耕作している ○○ 氏へ売買により所有権移転する運びとなったものであります。

申請に対する調査の結果としましては、○○氏は、農業に常時従事することができると共に、農機具の保有状況や周辺地域との調和要件等から適切に農地の維持管理ができ、許可の要件を満たしていると思われますので、報告します。

○議長（土屋勇雄 会長）

6番 鈴木 正晃 農業委員に申し上げます。

調査報告に補足があればお願いします。

○6 番（鈴木正晃 農業委員）

特に補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、No.2 の審議を行います。

調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。

意見、討論、質疑ございませんか。

○4番（高橋二三雄 農業委員）

ただ今のNo.1、No.2について、いずれも所有権移転案件だと思いますが、No.1は無償贈与、No.2は10a当たり9,434円との事ですが、これら取引価格に係るガイドライン等は、あるのでしょうか。

○事務局（渡部 主事）

農地法3条の申請につきましては、所有権移転の際の許可の要件としましては、農作業従事要件や、農機具の保有状況、地域との調和要件等がありますが、過去には農地取得時の下限面積要件として、50a以上所有という要件がありましたが、令和5年4月よりこの下限面積要件は撤廃されております。

ご質問の農地法3条による所有権移転の場合、取引価格に係るガイドラインや対価の指定はございません。そのため、無償での贈与や、10a当たり単価10万円とか20万円と言うような取引もございます。

以上であります。

○4番（高橋二三雄 農業委員）

了解しました。

なおNo.1の場合、無償での贈与のようですが、生前贈与の適用にはならないのでしょうか。

○事務局（渡部 主事）

生前贈与とは、自分の子供や孫などに対して、生きている間に財産を渡すものですが、今回のNo.1の案件につきましては、生前贈与の内容ではありません。

○4番（高橋二三雄 農業委員）

了解しました。

○議長（土屋勇雄 会長）

その他、意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第34号のNo.2について、申請のとおり許可することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第34号のNo.2については、申請のとおり許可することに決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、No.3の調査員であります24番 小檜山 慶一郎 推進委員に報告を求めます。

○24番（小檜山慶一郎 推進委員）

No.3について、令和5年8月5日、申請人 ○○ ○○ 氏の自宅を訪問し、調査書に基づく調査を実施したので、報告します。

本申請の譲渡人 ○○ ○○ 氏 外4名は、平成23年9月に本申請農地を相続により取得しましたが、共有持分の所有者全員が町外在住のため、生前に所有農地を処分したいとの意向で、○○ 氏へ売買により所有権移転する運びとなったものであります。

また、○○ 氏は権利取得後は畑として、自家野菜を作付けする予定とのことであります。

申請に対する調査の結果としましては、○○ 氏は、農作業に常時従事することができると共に、農機具の保有状況や周辺地域との調和要件等から適切に農地の維持管理ができ、許可の要件を満たしていると思われますので、報告します。

○議長（土屋勇雄 会長）

9番 二瓶 公司 農業委員に調査報告の補足説明をお願いするところですが、本日都合により欠席のため、省略いたします。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、No.3の審議を行います。

調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第34号のNo.3について、申請のとおり許可することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第34号のNo.3については、申請のとおり許可することに決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第35号「現況確認証明願いについて」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 農地係長）

議案第35号「現況確認証明願いについて」説明いたします。

この議案は、農業委員会の証明の適否を決定したいので審議をお願いするものであります。

5 頁をご覧ください。

No.1 の申請人は、〇〇の〇〇 〇〇であり、申請地は、字〇〇7105 番 527 畑 1 筆 473 m²であります。

申請事由としましては、昭和 56 年以降、40 年以上管理や耕作等が出来ず、原野化したものであります。

議案説明資料の 3・4・5 頁が、申請地の案内図、公図、現況写真となっておりますので併せてご覧願います。

次に No.2 の申請人は、〇〇の〇〇 〇〇であり、申請地は、大字〇〇字〇〇3809 番 1 畑 1 筆 1,070 m²であります。

申請事由としましては、昭和 52 年以降、不耕作となり、原野化したものであります。

議案説明資料の 6・7・8 頁が、申請地の案内図、公図、現況写真となっておりますので併せてご覧願います。

この案件につきましても、申請書としての形式的要件を備えておりますので、事務局として受理し、担当地区の農業委員及び推進委員の方に、現地調査への立会いをお願いし提案しております。

なお、この制度についてご説明いたしますと、福島県現況確認証明書等交付事務取扱要領で規定されているものであり、現況が非農地である土地について「農地法の適用を受けない土地である」旨の証明をする制度であります。

農業委員会が「非農地」とみなせば、この証明書により地目変更登記ができますが、この制度はあくまでも自然に原野化・山林化してしまった土地についての制度であり、人工的な構造物・構築物がある場合など、農地転用の制度に違反すると認められる場合は、この証明の対象とはしないこととなっております。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので、No.1 の調査員であります 2 番 小檜山 浩子 農業委員に報告を求めます。

○2 番（小檜山浩子 農業委員）

議案第 35 号の No.1 について、令和 5 年 8 月 7 日午前 10 時より、私と氏田泰昭推進委員、申請者代理人及び農業委員会事務局 2 名立会いのもと、現地調査を実施しました。

申請地は、〇〇地区のスキー場線沿線の北側斜面に位置する畑で、農振農用地区域外（白地）の農地です。

山間部の斜面に位置する農地で、耕作には不向きなため、申請人の父が昭和56年11月売買により取得以来、耕作や管理が出来ないまま40年以上が経過し、雑草・雑木が植生し、原野化したものであります。

よって、今後農地への復元は困難であり、現況は非農地と判断したので報告いたします。

○議長（土屋勇雄 会長）

14番 氏田 泰昭 推進委員に申し上げます。
調査報告に補足があればお願いします。

○14番（氏田泰昭 推進委員）

特に、補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、No.1の審議を行います。

調査結果は、申請人の父が昭和56年11月売買により取得以来、耕作や管理ができないまま40年以上が経過し、雑草、雑木が植生し原野化している状況であります。

今後、農地への復元は困難であり、現況は非農地と判断したとのことであります。
意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第35号のNo.1について、願い出の通り、非農地と決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第35号のNo.1については、願い出のとおり非農地と決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、No.2の調査員であります4番 高橋 二三雄 農業委員に報告を求めます。

○4番（高橋二三雄 農業委員）

議案第35号のNo.2について、令和5年8月7日の午前9時30分より、私と関和慎一推進委員、申請者代理人及び農業委員会事務局2名立会いのもと、現地調査を実施しました。

申請地は、〇〇地区の主要地方道猪苗代塩川線北側沿線の畑で、農振農用地区域外（白地）

の農地です。

道路沿いの山際に位置する農地で、申請人の父が昭和５２年に贈与により取得しましたが、労働力不足により不耕作となり、一時は灌木等が植生し荒れた状態だったとのこと。

現在は、時々除草は行っておりますが、管理が出来ないまま４５年以上経過し、原野化したものであります。

よって、今後農地への復元は困難であり、現況は非農地と判断したので報告いたします。

○議長（土屋勇雄 会長）

１６番 関和 慎一 推進委員に申し上げます。

調査報告に補足があればお願いします。

○１６番（関和慎一 推進委員）

特に、補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、No.２の審議を行います。

調査結果は、申請人の父が昭和５２年に贈与により取得しましたが、労働力不足により不耕作地となり、一時は灌木等が植生し、荒れた状態であり、時々除草をしていましたが、管理が出来ないまま４５年以上経過し原野化している状況であります。

よって今後、農地への復元は困難であり、現況は非農地と判断したとのこととあります。
意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第３５号のNo.２について、願い出の通り、非農地と決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第３５号のNo.２については、願い出のとおり非農地と決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第３６号「農用地利用集積計画の決定について」を議題といたします。
事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 農地係長）

議案第３６号「農用地利用集積計画の決定について」説明いたします。

この議案は、猪苗代町長から農業委員会の決定を求められたので審議をお願いするものであります。

7 頁をご覧ください。

個人間の相対による利用権設定であります。

No.1 は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に 田 1 筆 2,741 m²を 期間9年 無償で

No.2 は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に 田 2 筆 4,105 m²のうち 2,202 m²を 期間9年 無償で

No.3 は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に 田 2 筆 4,105 m²のうち 1,903 m²を 期間9年 無償で、それぞれ貸し付けるものであります。

次に8 頁をご覧ください。

農地中間管理事業の公社売渡し分であります。

No.1 の譲受人は 〇〇の〇〇 〇〇で 大字〇〇字〇〇2 番 外3筆 10,541 m²を 10 a 当たり 204,468 円で

No.2 の譲受人は 〇〇の〇〇 〇〇で 大字〇〇字〇〇44 番 田 1 筆 905 m²を 10 a 当たり 260,497 円で

No.3 の譲受人は 〇〇の〇〇 〇〇で 字〇〇6 番 外1筆 田 1,992 m²を 10 a 当たり 131,020 円で

それぞれ、公社が売り渡すものであります。

次に10 頁をご覧ください。

農地中間管理事業の機構借入れ分であります。

No.1 は〇〇の〇〇 〇〇が、畑 1 筆 1,680 m²を

No.2 は〇〇の〇〇 〇〇が、畑 1 筆 1,787 m²を

No.3 は〇〇の〇〇 〇〇が、畑 1 筆 1,018 m²を

No.4 は〇〇の〇〇 〇〇が、畑 1 筆 2,380 m²を

それぞれ、〇〇の〇〇 〇〇に 期間11年 10 a 当たり 1,500 円で、貸付けるものであり

ます。

次に、11頁は これと同じ内容の機構貸付分であり、議案書記載のとおりであります。

なお、この案件につきましては、申請者の申請に基づき、町が作成した「農用地利用集積計画書」に基づき、利用権設定案件については、担当地区の推進委員の方に調査書に基づく調査をお願いし、また、公社売買の所有権移転案件については、担当地区の農業委員及び推進委員の方に、農用地利用調整会議への立会いをお願いし、提案しております。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので審議を行います。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第36号について、原案のとおり決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第36号については、原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第37号「猪苗代町農地パトロール（有効利用調査）実施要領（案）」について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 農地係長）

議案第37号「猪苗代町農地パトロール（有効利用調査）実施要領」（案）について説明いたします。

この議案は、「猪苗代町農地パトロール実施要領」を、次のとおり定めたいので、審議をお願いするものであります。

13頁をご覧ください。

猪苗代町農地パトロール（有効利用調査）実施要領（案）

第1条 農業委員会は農地の公的管理主体として、食料の生産基盤である優良農地の確保と有効利用の促進を図っていくことが求められている。

このため、農地パトロールを実施し、

- ① 遊休農地の実態把握と発生防止・解消
- ② 農地の違反転用発生防止対策等

について重点的に取り組むものとする。

なお、農地パトロールについては「農地パトロール（有効利用調査）」として、農地法第30条の「利用状況調査」並びに「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査（以下、荒廃農地調査）」を併せ行うほか、農地法第32条の「利用意向調査」を実施したうえで、必要な措置を行うこととする。

第2条 令和5年8月と11月を農地パトロール月間として設定する。

第3条 前年度の利用意向調査の回答で、自ら耕作等を行う旨の意向が示されていた場合は、該当農地において耕作が再開されているかどうかの確認を行う。

第4条 農地パトロール（有効利用調査）は、全ての農地を対象に、農業委員、農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局で実施し、必要に応じて地域農業に精通した者、農業団体等の協力を得て実施する。また、本調査は、荒廃農地調査も兼ねていることから、市町村職員や農業団体等とも協力して実施する。

なお、実施にあたっては、次の事項についても調査・確認する。

- (1) 違反転用農地の有無
- (2) 農地法の許可（3条、4条、5条）に係る履行状況
- (3) 旧農業経営基盤強化促進法による利用権設定等農地の履行状況
- (4) 営農型発電設備を設置した農地の営農状況（なお、現時点で猪苗代町内に該当農地はありません）
- (5) 産業廃棄物等の不法投棄の有無
- (6) その他必要と思われる事項

第5条から第10条につきましては、議案書記載のとおりでありますので、ご確認願います。

なお、この要領の施行期日は、令和5年8月18日の施行となります。
以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので、審議を行います。
意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第37号について、原案について原案のとおり決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第37号は、原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

以上で、本総会に付議されました案件は、すべて終了いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは、これをもちまして、令和5年 第9回猪苗代町農業委員会定例総会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。

（閉会時間：午後4時42分）

本委員会定例総会の内容を記録し、相違ないことを証明するため議長及び議事録署名人はここに署名する。

令和 5年 8月18日

議 長 (会 長)

署 名 人

署 名 人